

14. 腎がん

○

○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○:あり ×:なし

○

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数	治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日								各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術			化学 療法	インター フェロン 療法		放射線療法 体外照射	ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		掲載されている内容	
				開腹 手術	腹腔鏡 下手術	腹腔鏡下 小切開手術					治療内容	治療実績	医師の 専門 分野	
1 泌尿器科	4	3	状況 実績	○ あり	○ あり	× なし	○ あり	○ あり	× なし	大きな腎がんに対しては術前にTAEを行い、出血量を少なくするようにしています。	ア http://			
2			状況 実績								ア http://			
3			状況 実績								ア http://			
4			状況 実績								ア http://			
5			状況 実績								ア http://			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例:腎細胞がん
------------------------------------	---------